



2025年9月17日掲載

日本株上昇はバブルではない

日本株が連日最高値を更新してきましたが、これがバブルとは思っていません。

ネット上でのバブルという言葉は、急に上昇したという意味でよく使われます。確かにこのところの日経平均株価の上昇ペースは早いです。しかし、理由が明確であれば急な上昇でもバブルとは呼びません。個別の企業の突然の社長交代で今後改善が期待されると、短期間で株価が大きく上昇することがあります。しかし、そういう時にバブルと呼ばないのは、理由が明確だからです。

バブルと呼ばない理由は、今回の日経平均の上昇が3つの要因で説明できるからです。

まず人工知能(AI)、半導体関連の成長期待です。日本では半導体製造装置やテスターなどの成長が期待されるほか、世界の関連銘柄を幅広く保有する日本企業も指数に採用されているので、世界の期待の変化がかなり直接日本株に流れ込みます。

次に、トランプ政権の関税政策について、日本の自動車産業などの輸出関連企業への影響が限定的で予想できるようになってきたことです。一旦、悪影響が通り過ぎれば成長軌道に戻ると期待できます。

最後に、日本の人手不足による賃金上昇の継続と消費拡大が見込まれます。インフレが収まれば、これまでにない消費が牽引する成長が日本に訪れそうです。

リスクは3つの要因が期待したほどではない可能性のほかに、米連邦準備理事会(FRB)の利下げや日銀の利上げで、ドル安円高になり市場心理が冷え込むことです。しかし説明可能な上昇をバブルと呼ぶ必要はないでしょう。

(アモーヴァ・アセットマネジメント チーフ・ストラテジスト 神山 直樹)

※2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社はアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更しました。

《本資料は執筆者の見解を記したものであり、当社としての見通しとは必ずしも一致しません。本資料のデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》